

まんぶく ゆうぞう
万福 裕造

農研機構 農業環境変動研究センター 上級研究員

昭和 47 年（1972）、鹿児島県出身。
東京農業大学農学部、北海道大学大学院工学院卒業。2011 年農林水産省技術会議事務局、
2012 年より飯館村復興対策課派遣。2020 年度は飯館村復興アドバイザーとして
村の復興に携わる。ほかに環境省のコミュニケーション推進チーム委員をはじめ、
除染検証や農業再生の委員会にも関わる。

2011 年の農地除染技術開発の実証事業で、飯館村を初めて訪ねました。
翌年から村の復興対策課の一員として、除染や復興の業務を担当。
当時は「そもそも放射能って何？」というところからの説明なので、
どう表現すれば住民の皆さんに伝わるのか苦心しました。とにかく丁寧に
説明することを心掛けていたので、「万福ちゃんの言うことなら信用すっぺ」
と言ってもらえたときは、嬉しさとともにやりがいを感じました。
住民の皆さんと一緒に進めた農地除染の実証実験では「表土を剥ぎ取れば
土が痩せてしまうのではないか」、「作物の品質や安全性は本当に大丈夫か」など
不信感が噴出。まずコメを作付けし、水の安全性を確かめながら試験栽培をし、
その結果を公表。引き続き、他の作物の試験栽培も行いました。
実験開始から数年後の秋、ある農家さんが「これなら大丈夫だべ」と
言ってくれたとき、初めてホッとしたのと同時に手応えも感じました。
今後は除染した農地 2,200ha を、どう維持していくかも考える必要があります。
長泥地区で取り組む環境再生事業においては、
この事業に未来を託してくれた地元の皆さんの思いを胸に刻み、
誇れるふるさとの再生に向けて着実に再生につなげたいと思っています。



村の人たちと対話を重ねながら
農地除染の実証実験を進めた（右が万福さん）